

町田市議会議員・納税者主権

吉田つとむ

良識ある保守主義を目指す

町田市議会

〒194-8520

東京都町田市

森野 2-2-2 2

☎042-724-2171

「保守の会」派室

自宅042-795-7361



私の本会議反対討論（続き）

総合体育館の指定管理業身は市外業者に渡る

次いで、行政の考えでは、選考の公平さを保つために、市内業者でそれを実施する場合は5社の参加が必要だとするものでした。一社も市内業者が無いとするならば、それはそれでやむを得ないものと理解しますが、この間の質疑で、今回の応募者は全部で2社であったとの説明でした。当初の説明ではどちらも市内業者ではない趣旨でしたが、本会議質疑において、今回の外された側の業者は、メインの業者の事業所が町田市内にあり、本社機能が町田市にあるとみなされる企業である旨の答弁がありました。また、その外された業者のグループの参加企業の中には、本店が町田市内であり、業種は緑化・植栽を行う会社である旨の本会議の答弁がありました。私が記憶するところ、その会社はもっぱら町田市内で事業展開をしている、まさに「地場企業」と呼べる会社と理解しています。

であるとするならば、そうした業者に優先的な選択を行うのが、税の用途のあるべき姿と考えるのが、地域経済循環を求める時代の発想ではないでしょうか。

議会の役割は、行政の手続きに瑕疵が無ければ、なんでも賛成と言う見地ではなく、地元町田市の事業者の受注機会が優先されるべきとの発想に転換し、行政の判断に再考を促すために、ここで、「指定管理者の指定」の第135号議案に議会・議員の皆さんが一人でも多く、反対されることを期待して、反対討論と致します。（注）*この議案の採決結果は、18×17、1票差で可決となりました。唯一の本会議討論発言者として残念な結果となりました。（終）

議会の再議という首長の強権

詳細は次号以降の掲載になりますが、首長（市長村長、都道府県知事）は自分の議案が通らなかった場合、同じ内容でもう一度、その議案を議会に提案できるようになっています。町田市では過去に「風しん」の予防接種に関して市長が半額（東京都が負担）を住民負担とする予算案を出し、議会では私が所属していた当時の会派が修正案（町田市が上乗せして、住民負担なしの無料とする）を出し、本会議でその修正案が多数となり可決しました。しかし、市長が再度、同じ予算案を提起し、過半数以下なのに「再議」で市長案が通った（理不尽に等しい）事例がありました。

今回、ケースはまるで違った例ですが、沖縄県が県民投票を実施することを進めています。その実施主体である基礎自治体の一部でその選挙関連予算案を認めない結果を出す議会が出ています。宮古島市議会がその方針をいち早く示したのですが、ぜひ、現地で行政側の判断、議会の判断、住民の動向を詳細に見て回りたいと思いました。



正月行事に出席し、
展示作品前で撮影

★ 政党無所属・市議会は保守の会 mail : yoshidaben@gmail.com

URL <http://j-expert.jp/> 動画 <http://jp.youtube.com/yoshidaben>



メール送信

編集者 〒194-0011 町田市成瀬が丘 1-14-12 サンホワイトE103-13 吉田つとむ（自宅）

町田市議会議員 **3期連続トップ当選**

吉田つとむ

取材・記事作成・総合編集



左上はブログ
右上は新規の
ビジュアルサイト



インターン生募集中

研修レポート③②宇都木彩名

東郷青児記念 損保ジャパン日本興亜美術館に行ってきました。当美術館は、1976 年 7 月に開館してから約四半世紀にわたり、国内外の芸術作品による展覧会を催しています。

今回は日本・スウェーデン外交関係樹立 150 周年記念として、カール・ラーション展覧会が開催されていました。カール・ラーションはスウェーデンの暮らしを芸術に変えた画家です。家族をモチーフにした温かい作品で知られるスウェーデンの国民的人気画家の彼は、昔ながらの伝統が残るダーラナ地方に「リッラ・ヒュットネース」と呼ばれる家を購入します。そこで妻カーリンとともに理想の家へ改装していきました。その暮らしぶりを描いた画集は現代のスウェーデンのインテリアに深い影響を与え、各国でも翻訳出版されています。本展では、絵画をはじめ、夫妻がデザインした家具やカーリンのテキスタイルなど日本初公開を含む品々を展示されていました。そこから異国の魅力的な雰囲気が漂うライフスタイルを感じ取れます。

また展示室内には「リッラ・ヒュットネース」の居間をイメージしたコーナーもありま

す。こちらは撮影可能なフォトスポットになっていました。美術館で写真撮影が可能な場所があるというのは珍しいため、嬉しく感じました。夫妻がデザインした家具や織物は、スウェーデン家具の大手企業である、イケアの製品に大きな影響を与えています。イケアは私自身、大好きな家具のお店です。彼らの作品がイケアと深い関わりを持っていることを知り、更にその作品に惹かれました。芸術は企業に影響を与えるほどの、大きな力を持つものなのだ実感しました。

津田塾大学 2 年生 宇都木 彩名 (第 39 期生)

元インターン生が弁護士になる



元インターン生の大谷優樹さん (第 29 期生)

が、司法試験に合格し、その後の司法修習を終え、この 1 月から栄えて、「弁護士」となりました。元インターン生では 3 人目の弁護士が誕生した次第です。現役学生の元インターン生の中にも司法試験を目指すケースがあるものと思っています。

後続の学生には、ぜひ難関を突破してもらいたいと願っていますし、様々な希望を持った新たな新規インターン希望者 (大学 1 年生以上) も募っています。



★ 吉田つとむのインターンシップは 1998 年に開始、町田市役所のインターンシップ受け入れや、中学生の職場体験に先行実施

★ 大学生・院生を対象に、議員活動に同行することを通じて社会勉強を支援しています。

インターン希望の方、関心がある方は、ホームページの掲載要旨をご覧ください。